

2026年度南区民大会競技上の注意事項

南区野球協会

1 全体注意事項

監督・主将会議において説明及び決定した事項等は、必ずチーム全員に周知すること。
会議出席者の未周知による異議申立は、一切受け付けない。

→今年度は、代表者会議として開催しているので、以下の注意事項を確認願います。

2 大会適用規則

公認野球規則、全日本軟式野球連盟競技者必携、アマチュア野球内規及び大会特別規則を適用する。

3 試合の決定

(1) 試合の組合せは、原則として試合日の10日前までには決定し、チーム責任者に電話（ショートメール含む）にて通知するとともに横浜野球連盟ホームページの南区のサイト（試合予定・結果のページ）に掲載する。

決定した試合については、全日本軟式野球連盟、神奈川県野球連盟、横浜野球連盟等の主催大会に南区代表として参加し、試合日が重複した場合に限り日程の変更申出を認める。

その他の事由による変更申出は一切認めない。

(2) チーム事情により通知された日程に出場できない場合は棄権扱いとして相手チームに勝利を与え、当日の天候状況により大会が開催できなかった場合においても決定を変更しない。

(3) 大会当日における天候状況、グラウンド状況による開催の決定は、球場責任者が公園管理者と調整のうえ決定し、各チームの責任者に電話連絡する。

なお、大会当日の7：30以降各チームの責任者が大会本部の携帯電話に照会することは可能とする。

大会本部の携帯電話番号は「090-3215-5417」であるが、大会当日以外は電源を入れていないので注意すること。

4 メンバー表の提出と攻守の決定

(1) 各チームは試合開始予定時間の30分前までに大会本部に到着した旨連絡を行い、本部から交付されたメンバー表（4部）を提出し、監督又は主将が球審又は球場責任者の立ち会いのもとで攻守を決定する。

メンバー表には、球場に遅れて到着する選手を含めて記入することとし、メンバー表に記入されていない選手は試合に出場することを認めない。（選手登録が行われている選手に限る。）

他支部及び他チームに登録されているチーム及び選手は、二重登録に該当し、メンバー表に記入されている選手の二重登録が発覚した場合は、没収試合とし相手チームに勝利を与え、大会役員が協議のうえ処分を決定する。

メンバー表の「監督」欄には、当日のチーム責任者名を記入すること。

(2) 指名打者を指名するチームは、DH及びP（投手）をメンバー表に記入すること。

(3) 試合開始予定時間に遅れるか、人数が揃わない等試合ができる状態にない場合は原則として棄権とみなし、相手チームに勝利を与える

(4) 試合には9名以上の選手が参加すること。（9名の場合は、攻守交代時の守備練習を認めない。）

(5) ベンチは、抽選番号の若いチームを一塁側とする。

5 用具・装具

(1) 金属・ハイコン（複合）バットは、「JSBB」公認マークのないものを使用することはできない。

(2) バットの素振用リング、パイプの球場内への持込及び使用を禁止する。

(3) 大会使用球は、「ケンコー」M号ボールとし、各チームが**最低2球**を準備し、試合前に大会本部に提出すること。

- (4) 打者、走者、ベースコーチ及び捕手は「J S B B」公認、S・Gマーク付きのヘルメットの着用を義務付ける。(各ヘルメットを持参していない場合は、棄権扱いとして相手チームに勝利を与える。)
- 打者の顎ガード付きヘルメットについては、新SG基準を満たしたものについて使用を認める。
- (5) 捕手は「J S B B」公認のマスク **(SGマーク付・スロートガード必須)**、プロテクター及びレガーズの着用を義務付ける。(各防具を持参していない場合は、棄権扱いとして相手チームに勝利を与える。)
- (6) キャッチャーボックス及びブルペンで投球を受ける捕手は、ヘルメット、**マスク (スロートガード付)**、**プロテクター及びレガーズ**を着用しなければ着座して捕球できない。
- (7) 試合に出場する捕手及びブルペンの捕手は、**ファウルカップ**を着用すること。
- (8) 各ヘルメット及び捕手のマスクは、「J S B B」公認マークのないものを使用することはできない。
- (9) 試合に出場する選手は、危険防止のため**スパイク**を着用すること。
- (10) 保土ヶ谷公園軟式野球場では**金属バットの使用を禁止**する。木製バット (一定本数は球場及び大会本部で用意する。) を使用すること。
- (11) **岡村公園及び野島公園野球場では、ハイコンバットの使用を禁止**する。一般の金属バットを使用すること。
- (12) 球場に持ち込んだバッグ等は、ベンチの後方に保管することとし、ベンチの幅からはみ出さないように注意すること。

6 大会特別規則

- (1) 大会は、A、Bのクラスに分けて開催し、Aクラスはブロックリーグ戦及び決勝トーナメント戦、Bクラスはトーナメント戦で実施する。
- (2) 試合は7回戦とし、試合時間は1時間30分とするが、**1時間15分(規定時間)**を超えて新しい回に入らない。(この場合、5回が終了していても正式試合とする。)
- なお、裏の回において攻撃中のチームがリードしている状態で**1時間30分を経過**した場合は、**当該打者の打撃完了をもって試合を終了**することとする。
- ただし、決勝戦については**2時間**を超えて新しい回に入らない。(マスターズ、秋季選抜大会を除く)
- (3) **1時間5分経過時のインニング終了時又は規定時間内で7回終了時に同点の場合は、全日本軟式野球連盟大会特別規定のタイブレイク (無死走者1, 2塁で継続打順) により勝敗を決定する。**
- ただし、規定時間を経過した回の終了時に同点の場合は、その時点で出場していた選手による抽選で勝敗を決定する。(Aクラス、マスターズを除く。)**
- なお、**決勝戦においては、試合時間が1時間45分経過時のインニング終了時又は7回終了時に同点の場合は、タイブレイクにより勝敗を決定するが、2時間を経過した回の終了時に同点の場合は、その時点で出場していた選手による抽選で勝敗を決定する。(マスターズ、秋季選抜大会を除く)**
- (4) 降雨その他の理由によりコールドゲームとする場合、正式試合となる回数は5回とする。
- (5) 得点差によるコールドゲームは、3回以降10点差、5回以降7点差とする。
- (6) Aクラスの各ブロック第3位チームとBクラス第3位チームによる入替戦を実施する。

7 試合の進行に関する事項

- (1) 審判員の裁定における規則適用上の疑義に関して抗議できるのは、監督(当日のチーム責任者)、主将及び当該選手のみとするが、裁定そのものに関する抗議は認められない。
- 激昂のあまり審判員に対する暴言、暴行を働いた場合、理由の如何を問わず当該選手等を直ちに退場させ、大会役員が協議のうえ当該選手及びチームに対する処分を決定する。
- (2) 試合中、選手同士、チーム同士の暴行、暴言は一切禁止する。
- 暴行を働いた場合、理由の如何を問わず当該選手等を直ちに退場させ、大会役員が協議のうえ当該選手及びチームに対する処分を決定する。
- 相手チーム、審判員に対する野次、暴言に注意してフェアなスポーツ精神で試合をすること。

- (3) 放棄試合は許されない。
大会役員が協議のうえ放棄試合を行ったチームに対する処分を決定する。
- (4) 各イニングの先頭打者、次打者及びベースコーチは、ミーティングに参加することなく直ちに所定の位置につくこと。
- (5) 打者は、速やかに打者席に入って打撃姿勢をとることとし、サインは打者席内から見ること。
- (6) 走者となった選手が負傷などで治療が長引く場合、臨時代走を認めて試合を進行させる。
臨時代走は、当該選手の打順が前位で走者となっていない選手とし、**投手を除く**。
- (7) 試合中の事故、負傷などはチームが一切の責任を取ること。

8 その他

- (1) ファウルボールは、一塁側のもは一塁側ベンチ、三塁側のもは三塁側ベンチ、本塁後方及び球場外は攻撃側で処理すること。
球場外に出たボールを回収できなかった場合は、攻撃側が新しいボールを球審に手渡すこと。
- (2) **試合終了後は、両チームから各3名が参加してグラウンド整備を手伝うこと。**
- (3) Aクラス各ブロックの順位決定方式は以下の順による。
 - ア 勝点の多いチーム
 - イ 得失点差の大きいチーム
 - ウ 不戦敗の少ないチーム
 - エ 得失点率の小さいチーム
 - オ 直接対戦の勝利チーム
- (4) **次節のAクラス参加チームの順位決定方式は以下の順により、12チームを決定する。**
 - ア Aクラスの各ブロック2位以上のチーム
 - イ Bクラスの優勝、準優勝チーム
 - ウ 入替戦③、④の勝利チーム
 - エ 入替戦③、④の敗戦チームのうちBクラスのチーム（準決勝で優勝チームに敗戦したチームを上位とする）
 - オ 入替戦③、④の敗戦チームのうちAクラスのチーム
 - カ 入替戦①、②の敗戦チーム

※ オ及びカについては、Aクラスの順位決定方式の順で上位チームを決定する。

入替戦のトーナメント表

